

北海之光

8月号 北海道教区報

祝福されよ 主に信頼する人は

エレミヤ書 17章 7節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshkk-hokkaido.jp

http://www.nshkk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

「迷ってっす」

札幌聖ミカエル教会牧師
新札幌聖ニコラス教会管理牧師
司祭 コルベ 下 澤 昌

神学生の頃、東京都内の障がい者支援グループと関わりができて、学校の授業とは関係なく学生有志がお手伝いしたことがあります。ある日のこと、私は脳性麻痺の男性を車椅子に乗せて外出することになりました。当日、どこに行きたいかを尋ねると、彼は「渋谷のパルコに行きたい」といいます。どう考えても簡単な行程ではありませんでした。『こんな夜更けにバナナかよ』という本が有名ですが、その日の私は「こんな土曜にパルコかよ」という心境でした。

彼はとても茶目っ気のある人で、私を試していたのかも知れません。この人間は本気で障がい者と関わろうとしているのか、それとも自己満足か。私は腹を決め、小田急線で新宿に出て、乗り換えて渋谷に出ると、案の定、人がう

ホームに直結するエレベーターはあまり設置されておらず、車椅子の方々は大変な苦勞を強いられました。小田急線のホームに上がるため駅員にサポートを依頼し、階段の下で彼と一緒に駅員の到着を待っていました。大勢の人々が階段から降りてきます。我々の存在に気がつくのと、何の躊躇もなく近寄ってきて「階段を上がるんですね、お手伝いしますよ」と言ってくる人が一割ほど、反対に、ただ前を向いて、我々がそこにいないかのように通り過ぎる人が八割ほどでしょうか。問題は残りの一割ですが、一度はそのまま通り過ぎるのですが、何歩か進むと、くると戻って来て声をかけてくれる人がいるのです。時間になると、ほんの一秒、二秒でしようか。通り過ぎた背中が迷って揺れています。自分はいま急いでいる、用事がある、ちょっとした勇氣も要る。しかし、目の前に困っている人がいる。そんな迷いの挙げ句、数歩進んで戻ってくる。そう

いう人が何人もいて、私は、迷うって素敵だなと感動を覚ええました。

私たちは日々、いろんなこととで迷い、決められずにいます。フェラーリを買うか、ベントレーを買うかで迷うのは論外としても、例えば人と共に生きようとする時、いろいろな迷いが生じるのは良いこと、もつといえは迷うべきなのだと。迷いがすぐに解消して決断できる場合もあれば、何日も、何ヶ月も迷い続けることもあります。現在の自分の力と、期待されていることの間にある溝を何とか埋めようとすることがゆえの迷いは、祝福された迷いです。それはまた、自分を前に押し出す、聖霊の働きを待つ、尊い時間なのかもしれません。

「大祭司(イエス)は、自分自身も弱さを身にまとい、無知な人、迷っている人を思いやることができるのです」

(ヘブライ人への手紙五:二)

帰り道のこと、当時は駅の

—心の窓をひらく—



福音と私(二五〇)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

岩見沢聖十字教会信徒

ユニケ 菊地 和子



私の好きな聖句

柔和な人々は、幸いである、
その人たちは地を受け継ぐ。

マタイによる福音書第五章五節

昔々、札幌聖ミカエル教会で結婚式を挙げた両親の五人の子どもの一人として、教会の近くで育ちました。礼拝堂の見事な丸太の木組みや壁のレンガの積み方などを飽きずに眺めていた幼児でした。

よく、ミカエル寮の北大生の人たちが、粗末な我が家に集まって、父に聖書について質問したり、ワイワイと語り合っていました。母は「お父さんは洋服屋より牧師さんになった方がよかったね。」と笑っていました。何十年もあとに私が幼稚園の園長になつて、その頃の学生さんたちにとってもお世話になるとは、幼い私には想像すらできないこ

と落ち、納得できませんでした。

本当に、教会に行くと、会社の偉い人も大学の先生も偉ぶる人などなく、誰にでも分け隔てなく親切に接しているの、その感覚は当たり前だと思っていたのです。

ところが大きくなるにつれ、それは普通じゃないと知りました。

同級生の男の子が、家に招いてくれた時のことです。玄関先で彼のお母さんが開口一番「お住まいはどこからですか?」私が「はい。東区です。」と答えた途端、目に侮蔑の色が浮かび「あーら! 東区?」と言いながら私の頭から洋服、靴の先までジロジロと眺めまわしたのです。私の知ってる東区にこんな失礼な人はいなかったぞ! と驚きました。

バイトをしていた家庭教師先の家のお母さんは「またおばあちゃま来るんだってよ!」と子どもたちに言い「嫌だなあ」「でもパパのお母さんなんだから、来たらちゃんと笑いなさいよ」と笑顔指導。お金と地位はあっても平和はない家庭をたくさん見ま

した。

大学では授業料を稼ごうと、バイト三昧。美術科だったので雪まつりの大雪像作りやテレビ番組のイラスト描きなど高額バイトを渡り歩いていました。高額バイトの一つ、道議会では、お茶が薄いというだけで激怒したり、夜のスキノに女子大生を誘う議員さんも。「嫌だけど親の立場もあるから断れない。」と言っついていく人を見て、「ただの洋服屋の娘で良かった!」としみじみ感謝。放送局でも、若い女の人を外見で選び、使い捨てにしてい

く様子を見てがっかり。昔から世の中がこんなだったからこそ、イエス様は平等や敬愛の教えを説いていたのだと痛感しました。

しかしその後、宗谷の教員になり、大自然を相手に命を懸けて働く酪農家や漁師の家族と深く関わることができました。ここではお年寄りも女性も子どもも、なくてはならない存在で、みな役割があり、堂々としていました。時に人の力ではどうしようもない悲劇も起こるため、人々には神

様の存在が必要で、公立校であっても、地域の神事を共に大事にするほどでした。大事にしたからこそ、逆にキリスト教にしかない教えと、尊さを知ることができました。

今、人権意識の高まりと共に世の中も変わってきましたが、一方ではヘイトクライムや不寛容、弱者への虐待などの問題も大きくなっています。考えが固まってしまふ前の、幼い時期にこそ、イエス様の言葉を伝えていきたいです。

幸い、今の職場では、先生たちが本当に温かく公平に、子どもたちを愛して保育をしています。一人一人を大切に減らし自主的に遊びなくなる環境づくりに、汗だくになって真剣に取り組んでくれる仲間です。良い人をたくさん育てていると感じ、感謝しています。これからもイエス様の枝につながりながら、みんなで進んでいきたいと思っています。

(岩見沢聖十字幼稚園園長)

常置委員会報告

第九回 七月一二日

《協議事項》

一、次期主教選挙実施に関する件
・教役者会の提言を踏まえ、

常置委員会で協議した結果、主教選挙を行うこととし、各教会に通知することとした。
二、ランバス会議に関する件
・来年の七月～八月開催予定のランバス会議には、新主教が出席する前提で対応するこ

ととした。
三、稚内聖公会・厚岸聖オーガスチン教会に関する件
・両教会の伝道所移行手続きが進んでいることを確認した。
四、教区会計(二〇二一年上半期を終えて)に関する件

・前年度はコロナ禍への対応策として、各教会の教区への奉献額を年度中に一ヶ月減免したが、今年度は決算を見極め余剰金が生じた場合、来年度に還元することとした。
五、二〇二二年度教区会計予算案に関する件
・来年度の予算作成は協議の結果、従来通りの算出方法で行う事とした。
六、教区修養会・教区会・召命黙想会等の可能性に関する件
・コロナ禍の状況のもと、開催の可能性についての検討を関係委員会に依頼することとした。
七、定期教区会に関する件
・十一月二日～三日を予定することとした。
八、コロナ禍の感染対策に関する件
・緊急事態宣言は解除となったが、デルタ株による蔓延も懸念されるため、各教会においては一層注意を払うよう伝えることとした。
九、バチラー師由来の幻灯機貸し出しに関する件
・平取町立二風谷アイヌ文化博物館の特別企画展に対し、教区所有の幻灯機の貸し出しを許可した。



主教室よい

七月八、九日に教役者会が開かれ、私が来年三月末で定年退職することに関して、北海道教区として後継主教を選挙するか、または主教選挙はしないで伝道教区となるかについて協議されました。昨年一〇月に行われた日本聖公会総会で、「宣教協働区・伝道教区」に関連して日本聖公会の法規が一部改定され、それによって、北海道教区としては上に述べたように二つの選択肢が与えられていたのです。

区の場合は今年の四月一日から主教選挙が可能となっていたわけですが。しかし法規改定を受けて、教役者会と常置委員会は昨年の十一月以来、ずっとこの件を慎重に話し合ってきました。その結果、七月教役者会では、①植松主教の定年退職に伴い、主教選挙を行うことが適当であると考える。②伝道教区を含む教区再編については現時点で行うには時期尚早と判断し、新主教のもとで信徒を含む全教区的な協議を深めていくことが適切だと考える、という合意が形成されました。

その後、七月一二日に開かれた常置委員会でその合意を受け、さらに慎重な協議を重ね、七月一五日、常置委員長名で、北海道教区は次期(後継)主教を選出する選挙を実施するとの正式なお知らせが出されました。多分、皆様の教会でもその旨、発表があったことと思います。
今後、常置委員会として、主教選挙の日時など具体的な要領を決めていくこととなります。

私が北海道教区の主教に就任してから二五年になります。現役の教役者の中でその時の主教選挙に参加したのは二名だけです。長い間、主教選挙とは無縁であった私たちの教区は、これからその大事な時を迎えようとしています。皆様のお祈りをお願いいたします。

主教 ナタナエル 植松 誠

堅信式受領 おめでとう

函館聖ヨハネ教会
アグネス 尾張 理恵子
七月一八日

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

九月八日(水)

午前一〇時三〇分
於 主教座聖堂
司祭 木末 登

一九六七年九月四日
司祭 本間 弥門

一九三九年九月八日
司祭 岡村 龍夫

一九八〇年九月一日
司祭 須貝 隆

一九九九年九月一日
司祭 須貝 隆

一九七九年九月一日
司祭 須貝 隆

一九五八年九月一日
司祭 須貝 隆

一九三〇年九月一日
司祭 柴田 新太郎

一九三四年九月二〇日



▽岩見沢聖十字教会

七月二二日、国難の中、東京オリンピック開幕。連日の日本人選手の活躍に感動。会場に日の丸が美しく舞う。

初旬、園は年長によるお泊まり会。一時は実施も危ぶまれましたが感染予防を徹底し無事行われる。今回の楽しみは恒例のドラム缶風呂。子ども達は一つも二つも成長。

下旬、幼稚園・保育園の施設職員研修会、一年振りにネットで開催。交わりを深める。

毎週の代祷でコロナの終息と暫く教会に見えられない愛する兄弟姉妹・聖職者の為に祈りをお捧げする。

▽旭川聖マルコ教会

七月の旭川は記録的な暑

さ。二週間真夏日が続きました。暑さの中、感染に最大限の配慮をしながら主日が守られています。一日は永谷管理牧師の司式説教による聖餐式。

一八日草刈り作業を予定していましたが酷暑のため中止。近くの人と集まる事もままならず、遠くの会えない人たちに想いを募らせる毎日、いつまで続くのか? 礼拝堂の屋根の修理は完了しました。江丹別では三八・四℃観測史上最高を記録。今年一月にはマイナス三二・八℃を観測していたそうです。牧師館にやっとエアコンがつかまりました。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

コロナの第五波が進行する中、当教会には暗雲を吹き飛ばす嬉しい出来事があります。

聖霊降臨後第七主日礼拝後、吉野司祭とモニカ千葉和美さんの結婚予告があったのです。礼拝堂は一瞬のうちに主の御光に満たされました。予告は聖霊降臨後第八主日

にもう一度あり、聖婚式は二三日、植松主教司式の下、教区会館聖霊礼拝堂で執り行われました。信徒一同心から喜び合った次第です。

また「新礼拝スタイル」の第二弾も実施に移されました。様々な事情で教会の礼拝に出席するのが難しい信徒の為に YouTube による礼拝配信がスタートしたのです。

これによりスマホやパソコンでも家庭で礼拝参加したり、信仰の仲間にあえたりします。「コロナ時代の礼拝元年」が始まったと言っているでしょう。

これから、教会には建て替え問題、厚岸聖オーガスチン教会伝道所化問題、さらに児童保育園建て替え問題など難問が立ちはだかっています。主の導きを。

▽小樽聖公会

七月一日(日)は宣教百四一年の記念日でした。植松主教様の巡回をいただき、お説教にも大変勇気づけられました。また、しばらく入院されていた信徒の方が久しぶ

りに元気な姿をみせてくださり、再会と一緒に礼拝できる喜びを分かち合うことができました。

暑い日が続いていますが、昨年のコロナ対策の換気ため戸のおかげで礼拝堂の窓を開け続けることができ、とても助かっています。マスクをしながらの礼拝が続きますので熱中症対策にも注意してまいります。

▽新冠聖フランシス教会

「ワクチン、もう打ちましたか?」という挨拶代りの言葉に「いやー、暑いですネ!」が加わる今日この頃です。みなさま、いかがお過ごしでしょうか? 当教会での礼拝は月に二回ですが、信徒のみなさんは車で来られます。だんだん高齢になられて車を手放さなければならなくなつたO・Tさん―思いあぐねておられました。小泉さんが回ってくださりひと安心で、心から感謝ですネ。山田さんのお嫁さんの行子さん丹精のトマトのお献げがあり、みな

で分けました。これも感謝です。

▽帯広聖公会

暑さ厳しく、コロナウイルス感染症の流行状況も一進一退の中、比較的本来に近い形で礼拝が行われていることに感謝します。

四日、聖餐式と教会委員会。信徒の数や世代の変化に対応するため、教会運営委員会による組織・業務の見直しなどが提案されました。

一日、聖餐式。

一八日、聖餐式。

二五日、聖餐式と臨時教会委員会。教会運営委員会からの提案が承認されました。

三日、炎暑の中、牧師館周辺の草刈り。

ワクチン接種の進展と流行の終息をお祈りします。

▽稚内聖公会

日本海側のオンライン沿いにエゾニユウが咲き並ぶ。

七月一二日、礼拝奉仕は木村司祭が担当しました。稚内では酷暑の気温二八℃。本原さんに、単身赴任中の谷脇さ

ん(奈良基督教信徒)も加わり、初夏の風を受けながら聖餐式を行いました。

二五日は午後五時三〇分から、植松主教が聖餐式を行いました。現在信徒数一名の稚内聖公会は、教区の伝道所へ移行する手続きを進めています。最北に立つ聖公会として福音を伝える働きが続けられるようにと願っています。

▽札幌聖ミカエル教会

来年度、幼保連携型認定こども園に移行する聖ミカエル幼稚園の施工業者が決まり、二四日起工式を行い、工事が始まりました。また幼稚園では一〇日、園庭で三つのクラスに分けてミニ運動会を実施。コロナ禍でも着実に成長した姿を見せてくれました。

コロナウイルスの影響で帰国を余儀なくされていたJOSのワーカー雨宮春子さんは、二〇日に札幌を離れタンザニアでの医療支援活動を再開。安全の内に働きが全うされるようお祈りします。教会は今年も札幌市のカルチャーナイトに参加、教会の紹介を動画

で配信しました。

▽札幌キリスト教会

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて札幌キリスト教会では五月半ばより公開の礼拝を休止していましたが六月末より再開し、諸行事も再開しました。猪又菜緒さん、アジア学院での長期ボランティアから帰札、報告会が行われました。この報告会を契機に「聖書の分かち合い」がスタートしました。「金曜ランチ」は、利用者が増え、夏場の衛生管理に配慮して、パン中心に変更しました。そのための資金が必要となり、緊急募金を開始しました。ご協力をお願いします。

▽新札幌聖ニコラス教会

六月末よりようやく公禱の礼拝が再開。北海道とは思えないような暑さの中でも集まることができ喜びを感じながら礼拝をお捧げする。七月四日より雨宮耕平さんがサーバー奉仕を開始。久しぶりのこと、事前にサーバー研修資料などで準備いただき、無事に奉仕をいただいた。信

徒のみなさんのご自宅の庭の賑わいを分けていただきながら毎週祭壇には夏の花々がお捧げされています。

▽函館聖ヨハネ教会

感染爆発?が気になる中、社会見学、修学旅行の生徒や観光の人たちが、教会を訪れています。来訪者ノートに「こんな時なのに開けてくれてありがとう」と書いてありました。

オリンピックが始まる直前の主日、植松主教が函館に巡回され、尾張理恵子さんが洗礼・堅信のお恵みにあずかりました。新しい家族が与えられてマスク下で歌われた聖歌もどこことなく心弾む感じでした。

神奈川の大学に通う狩野宇広君が東京の病院で大きな手術を受けることとなりましたが、お母様はコロナ禍のため上京を見合わせ。祈っています。

▽苫小牧聖ルカ教会

新型コロナウイルスの世界的な大流行の中、東京オリピックが開催されました。

この状況の中、アスリートらの闘いに感動と勇気を貰う。

礼拝は今まで通り感染予防に努める。信徒奉仕者は従来通り祭壇に上がって奉仕可能となる。マーメイド、ジャムも有志で造りました。美味しくできました。

幼稚園は一九日終業式・園児お楽しみのお泊り会後、夏休みに入りました。

船員奉仕会は船員が上陸禁止の船もあり暫く活動中止していますが船から要請があれば対応しています。

▽平取聖公会

八月一五日は七六回目の終戦記念日です。イザヤ書二章に「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。」があります。平和を創り出す道具としてくださいますの祈りです。戦後の初めはそのように始まりました。

日本では明治維新で徳川家は家臣団三万人が静岡県に移住し、牧ノ原台地を中心に明治六年までの五年間で、旗本、御家人が刀を捨てて農民となり五千町歩(ハタ)を開墾したと記録されています。まさにイザヤ書が実現した時だったのではないのでしょうか。

近代の二つの七五年間の後、新型コロナウイルスの中で盛夏を迎えています。ご自愛を。

▽有珠聖公会

例年以上の暑さ続く夏、青草も勢いよく伸びますが、片平芳裕さんのご苦労により、広い境内地は清々しく保たれています。

七月二五日、聖餐式。札幌より司祭に同行くださった石塚頭治さんの力強い歌声が、皆の声と共に石造りの礼拝堂に心地よく響き渡りました。

▽留萌キリスト教会

七月の雨は一度きり。更に暑さが続き、畑の野菜や花壇の花もすっかり参つてい

す。 一二日、広谷司祭が来られて、司式と説教のご奉仕をしてくださいました。自宅で療養中の土門さん宅もお尋ね

くださいまして感謝いたしま

▽紋別聖マリア教会

毎日暑い日が続きます、紋別でも三〇度前後の気温です。七月四日主教さんが札幌よりおいでになり聖餐式を行いました。前田夫人、岡村カツ姉出席されにぎやかに

開かれました。来年三月末の

植松主教退職に関して話し合

われました。二〇日から幼稚園が夏休みに入ります。園児

▽今金インマヌエル教会

その家族に主の恵みがありま

すように。暑い日が続きます。

身体に気をつけられお過ごし

ください。

晴天続きで農作物の成長も

順調で安堵しています。七月

一日、海の主日、二五日の

礼拝を守る事が出来ました。

春先に祝福された種は大地に

蒔かれ、今、小麦の収穫真っ

最中です。麦畑の中から頭を

▽室蘭聖マタイ教会

出すと、そよ風が顔に当たり

何とも言葉に表現出来ない気

持ちになります。収穫の喜び

と満足感で本当に感謝です。

そこへ雀が一羽。私が幼い頃、

日曜学校で唄った聖歌「空の

鳥は小さくてもお守りなされる

神様」と思わず口ずさんでし

まいました。作物や家畜を育

てる喜びに農家の魅力を感じ

ます。

七月に入っても中旬迄は曇

天続き、霧雨も多く内陸の教

会の方が羨ましい日々でした。

第二主日は松井司祭が来教

され聖餐式の恵みに与かり、

聖書輪読会、教会委員会を開

きました。第四主日は札幌よ

り大町司祭とご夫人が来教さ

れオルガン演奏と石塚兄も参

加され美声の下、聖歌が声高

らかに歌われました。教会員

も高齢化で体調不良の方も多

く教会の奉仕が十分に満たさ

れないのが悩みです。最後に

筆者が朝読んだ使徒書ローマ

の信徒への手続一二章九節、

一一節を皆様に贈ります。

七月四日定期七月委員会。

五日全国保育者大会北海道

開催の相談、Zoom画面に

園長とチャプレン出席。七、

一四、二二、二八日保育園の礼

拝、光の子の時間。一三日保

育園職員会議、紺野保育士に

よる「手足口病」について園

内研修の指導あり。一七、

一八日保育園のお泊り保育、

今年は年長児だけの参加、七

時三〇分朝の礼拝。三〇日

北海道教区施設職員研修会、

Zoom画面に園長、馬場保育

士、紺野保育士、西村保育士、

甲斐チャプレン出席、主教練

の基調講演を楽しく拝聴す。

感謝。

▽網走聖ペテロ教会

網走の夏、連日の暑さが続

く中、雨がなつかしく感じて

います。教会委員会の中で、

聖ペテロ教会一三〇周年にあ

たり何か記念になる事はと語

り合いました。墓地向の植樹、

スライドを通し歴史を振り返

る、音楽もいいね。などな

ど主の御心の日にこの思いが

成就出来ますように。二十九日

愛する瀧口兄が逝去されまし

た。長い入院生活が続きコロ

ナでお見舞いもできずとても

残念でした。教会に備え付け

られた海の風景画を見ながら

瀧口兄を思い出したいと思っ

ます。全ての人の上に祝福が

ありますように。

▽北見聖ヤコブ教会

北国なのに三六度(路上は

三八度)となる日もあり暑い

というより危険を感じる日も

ある北見です。

現状と冬期間のことを考

え、礼拝は第一・二・五主日の

聖餐式のみとなり、新しい歩

みをしています。

七月一五日納骨堂のプレ

ト設置工事、一八日司祭によ

る聖餐式の関係でヤコブ日礼

拝、一九日にはアクラ岡守さ

んの納骨式が行われました。

司祭は、いつものように、

紋別幼稚園、YMCA、網走

刑務所などに行っています。

コロナと暑さ早く落ちつけ!

▽聖マーガレット教会

七月一日(日)、海の主日。

全世界のミッション・トゥ・

シーフェアラーズの働き及び

港・漁業に従事する人、その

家族のために代祷をささげ

る。ふと、フランスの「ブル

ターニユの漁師の祈り」を思

い出す。「愛する神さま、私

を守ってください。海はあんな

に広く、わたしの舟は、こんな

なにも小さいのですから。」

素朴な深い祈り。

一八日(日)、聖霊降臨後

第八主日。み言葉の礼拝。こ

の夏、初めて冷房のスイッチ

を入れる。連日の記録的な夏

日。高齢の方々の健康が気が

かりである。